

## 第1編 メッセージ・スローガンについて

- ・ 下記開催意義を踏まえ、理解促進や機運醸成の観点から、市民・道民・国民向けにメッセージ・スローガンを策定
- ・ 当面の機運醸成への活用、大会概要（案）への反映、「狙いを定めた対話」移行後の国内外プロモーションに活用

## 第2編 大会開催意義について

### 第1章 共生社会の実現

#### 1 北海道・札幌における共生社会のまちづくり・地域づくり

- ・ 1-1 雪と共存し、雪がある生活に誇りが持てる街・地域へ
- ・ 1-2 大会開催とまちづくり計画との連動
- ・ 1-3 利用者目線でのバリアフリーの推進
- ・ 1-4 誰もが日常的にスポーツを楽しめる環境

#### 3 パラリンピック教育の推進

- ・ 3-1 子どもたちや若い世代に対する価値や意義の発信
- ・ 3-2 教育現場の対応（「I'mPOSSIBLE（アイムポッシブル）」の活用等）

#### 5 ジェンダー平等の更なる推進

- ・ 5-1 ジェンダー平等の強い打ち出し
- ・ 5-2 スポーツ界におけるジェンダー平等推進
- ・ 5-3 ジェンダー教育
- ・ 5-4 ジェンダー平等におけるインパクトのある取組

#### 2 大会開催を通じた共生社会実現への貢献

- ・ 2-1 あるべき共生社会の姿の具体的設定（イメージの見える化）
- ・ 2-2 共生社会実現のプロセスに巻き込む工夫
- ・ 2-3 情報公開・対話におけるアクセシビリティの確保

#### 4 パラリンピック・パラアスリートの役割と東京2020大会のレガシー

- ・ 4-1 パラリンピック・パラアスリートのパフォーマンスを通じた共感
- ・ 4-2 大会の計画段階からパラアスリートの声を反映
- ・ 4-3 パラ競技団体の運営基盤の強化
- ・ 4-4 東京2020大会から北海道・札幌2030大会へ

### 第2章 次世代につなぐSDGs

#### 1 気候変動と新しい大会のあり方

- ・ 1-1 気候変動に対する新たな取組
- ・ 1-2 自然環境の保全

#### 2 スポーツを通じた子ども・若者への教育

- ・ 2-1 子どもたちと「世界」との交流
- ・ 2-2 若者世代の希望となる大会へ

### 第3章 世界に躍進する経済・まちづくり

#### 1 観光立国・日本としての冬の魅力

- ・ 1-1 雪がある素晴らしさ
- ・ 1-2 継続的なインバウンド効果の獲得

#### 2 札幌・北海道の地域づくり

- ・ 2-1 未来のまちづくりへの投資
- ・ 2-2 札幌・北海道から日本の未来へ

### 第4章 2030大会がもたらすレガシー

#### 1 過去大会から学ぶレガシー

- ・ 1-1 東京2020から北海道・札幌2030へ
- ・ 1-2 長野大会から学ぶレガシー
- ・ 1-3 大会のあり方のパラダイムシフト

#### 2 まちづくりのレガシー

- ・ 2-1 大会開催による市民生活の向上
- ・ 2-2 競技力の向上と環境整備

#### 3 次世代の人々に向けたレガシー

- ・ 3-1 子どもや若者が主体的に大会に関わることで築くレガシー
- ・ 3-2 大会への多様な関わり方

#### 4 レガシー構築の視点、プロセスと発信の仕方

- ・ 4-1 レガシー構築の視点、プロセス
- ・ 4-2 わかりやすいレガシーの発信